

平成23年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 クロニクル
コード番号 9822 URL <http://www.chronicle-net.com>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 天野 裕
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 久保田 峰夫

TEL 03-5771-1200

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第1四半期の連結業績(平成22年10月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第1四半期	825	△13.0	△214	—	△228	—	△291	—
22年9月期第1四半期	949	5.3	△187	—	△168	—	△157	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第1四半期	△0.63	—
22年9月期第1四半期	△0.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第1四半期	5,219	4,802	92.0	9.81
22年9月期	5,291	4,968	93.8	11.10

(参考) 自己資本 23年9月期第1四半期 4,802百万円 22年9月期 4,968百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年9月期	—	—	—	—	—
23年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年9月期の連結業績予想(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,700	△4.4	20	—	20	—	20	—	0.04
通期	4,450	26.8	50	—	50	—	40	—	0.09

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、[添付資料]P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）、
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、[添付資料]P. 3「簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要」をご覧ください。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 有
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年9月期1Q 489,692,371株 22年9月期 447,692,131株
② 期末自己株式数 23年9月期1Q 16,251株 22年9月期 16,251株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年9月期1Q 461,675,960株 22年9月期1Q 447,676,080株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。
なお、上記予想に関する事項は[添付資料]P. 2「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、政府経済対策による下支えやアジア向けを中心とした輸出の増加等により緩やかな回復が見られるものの、為替の円高基調、雇用環境及び所得環境の低調推移等による先行き不透明な状況が依然として続いております。

このような状況の下、現在における当社グループの事業は、株式会社クロニクル及び当第1四半期連結会計期間より新たに子会社となった株式会社クリエイト21による投資事業、株式会社アメイジングバリューによるリセール・オークション事業及び株式会社ドゥーズによる正規品販売事業として業態の住み分けを明確にした宝飾品事業、株式会社エーディーアンドディー及び株式会社ビジネスアルファ24並びに当第1四半期連結会計期間より新たに子会社となった株式会社エフ・データクリエイションによるWEB情報事業、さらに、前第4四半期より新たな事業としてスタートいたしました株式会社アメイジングバリューによるリサイクル事業、同社及び当第1四半期連結会計期間より新たに関連会社となった株式会社ベルモアカフェによる流通サービス関連事業により展開しております。

当第1四半期連結会計期間における当社及び当社グループ全体の売上高は825百万円（前第1四半期連結会計期間は949百万円で前第1四半期連結会計期間比13.0%減）に止まり、経済環境の低迷による影響を受ける厳しい状況が続いております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[宝飾品部門]

利益率向上を目的とし、高級輸入時計を中心とする、リセール・オークション事業や国内における小売営業展開を積極的に行い、シェア拡大・向上に務めておりますが、売上高は164百万円（前第1四半期連結会計期間は202百万円で前第1四半期連結会計期間比18.5%減）に止まり、現在の経済環境による影響のもと、厳しい事業展開を余儀なくされた結果となっております。

[投資部門]

昨今の経済事情を鑑み、慎重に資金運用した結果、売上高は6百万円（前第1四半期連結会計期間は34百万円で前第1四半期連結会計期間比80.5%減）となりました。

[WEB情報部門]

結婚情報サイト「ピュア・アイ」の運営、WEB広告や通信販売事業等を積極的に展開した結果及び当第1四半期連結会計期間より新たな子会社1社が同事業に参入した結果、売上高は520百万円（前第1四半期連結会計期間は712百万円で前第1四半期連結会計期間比27.1%減）となりました。

[リサイクル事業部門]

当社の中心事業である宝飾品販売のノウハウを生かし、金やプラチナを中心とした貴金属等の買取りサイクルブランド「黄金市場」を立ち上げ、「売る」から「買う」ビジネスモデルとして事業展開を行っております。当社グループの高額商品を取扱う中で培ってきた接客スキルとノウハウを他業種で活用する新たなビジネス展開を立ち上げており、当第1四半期連結会計期間の売上高は34百万円となっております。

なお、当該事業は前第4四半期より開始しております新規事業となるため前年同期比較は行っておりません。

[流通サービス関連事業部門]

対象業種として当面は軽飲食サービスに限定するものの、当該軽飲食サービスへの収益性の高いコンサルティング業務、業務受託形態の事業展開を積極的に展開した結果、売上高は100百万円となりました。

なお、当該事業は前第4四半期より開始しております新規事業となるため前年同期比較は行っておりません。

以上の結果、売上高におきましては825百万円（前第1四半期連結会計期間は949百万円で前第1四半期連結会計期間比13.0%減）、営業損失におきましては、のれんの償却費39百万円及び貸倒引当金繰入額65百万円等の計上により△214百万円（前第1四半期連結会計期間は営業損失△187百万円）となりました。

経常損失におきましては、為替差損19百万円等による営業外費用21百万円の計上により△228百万円（前第1四半期連結会計期間は経常損失△168百万円）となりました。

四半期純損失におきましては、商品廃棄損30百万円、株主名簿引継手数料25百万円等による特別損失68百万円の計上により△291百万円（前第1四半期連結会計期間は四半期純損失△157百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1. 資産、負債及び純資産の状況

資産につきましては、前連結会計年度末に比べて72百万円減少し、5,219百万円となりました。

資産減少の主な内容は、現金及び預金の減少額130百万円及び無形固定資産の増加額90百万円、貸倒引当金の増加額54百万円等に伴う減少であります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて93百万円増加し、416百万円となりました。

負債増加の主な原因は、未払金の増加額65百万円及び未払法人税の減少額17百万円並びに長期借入金の増加額16百万円等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて166百万円減少し、4,802百万円となりました。

純資産減少の主な原因は、四半期純損失△291百万円の計上によるものであります。

2. キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ130百万円減少し、409百万円となりました(前連結会計年度末は540百万円で前連結会計年度末比24.2%減)。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は、前第1四半期連結会計期間に比べ32百万円(36.5%増)増加し、121百万円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純損失△286百万円の計上、未払金の増加額64百万円、営業出資金の増加額△30百万円、法人税等の支払額△23百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は、前第1四半期連結会計期間に比べ30百万円(73.1%減)減少し、11百万円となりました。

これは主に、貸付による支出△18百万円、貸付金の回収による収入13百万円、連結の範囲の変更に伴う子会社株式の取得による支出△3百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は、前第1四半期連結会計期間に比べ1百万円(前第1四半期連結会計期間は使用額一百万円)増加し、1百万円となりました。

これは主に、借入れによる収入2百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年11月15日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

固定資産に係る減価償却費のうち定率法により算定するものについては、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、平成19年9月期に△1,638百万円、平成20年9月期に△500百万円、平成21年9月期に△113百万円と3期連続して営業活動によるキャッシュ・フローのマイナスの状況が続いております。

また、平成19年9月期に△160百万円、平成20年9月期に△280百万円、平成21年9月期に△656百万円、前連結会計年度である平成22年9月期に△648百万円と4期連続して営業損失を計上しており、平成19年9月期に△1,229百万円、平成20年9月期に△1,334百万円、平成21年9月期に△2,389百万円、前連結会計年度である平成22年9月期に△893百万円と大幅な当期純損失を計上しております。

これにより、当社グループには将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

さらに、当第1四半期連結会計期間においても営業キャッシュ・フローについて△121百万円のマイナスの状況が発生しており、また、営業損失△214百万円の計上、また、為替差損19百万円及び商品廃棄損30百万円並びに株主名簿引継手数料25百万円の計上等により四半期純損失△291百万円を計上しており、依然として将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべくWEB情報事業の拡大及びM&Aや事業譲受等の事業拡大・強化の計画により売上高と利益率の向上を図っております。

具体的な施策としましては、WEB情報事業の新規情報配信コンテンツの立ち上げやWEB広告、WEB通販の拡大による新たな顧客層の獲得、販路の拡大、また、今後想定しております収益性を重視したM&A等による事業拡大により、売上及び収益の拡大を見込んでおります。

今後は関係会社の拡大・安定した収益の取り込みによる増収増益及び海外リセール・オークション事業の再開及びWEB販売により新たな顧客層の獲得による宝飾品事業の回復安定化を行ってまいります。

上記の諸策により、売上高及び利益の増加を見込んでおり、重要な不確実性も認められません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	409,730	540,378
売掛金	313,992	284,201
営業投資有価証券	52,361	※1 61,866
営業出資金	924,413	895,392
営業貸付金	308,000	308,000
商品	920,494	940,029
繰延税金資産	22,332	19,066
その他	69,097	67,639
貸倒引当金	△69,276	△69,296
流動資産合計	2,951,146	3,047,277
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	57,103	57,103
減価償却累計額	△13,665	△13,371
減損損失累計額	△9,712	△9,712
建物及び構築物(純額)	33,725	34,018
工具、器具及び備品	78,195	76,259
減価償却累計額	△62,163	△61,339
減損損失累計額	△9,970	△9,970
工具、器具及び備品(純額)	6,060	4,948
車両運搬具	8,374	4,830
減価償却累計額	△3,712	△2,570
減損損失累計額	△2,259	△2,259
車両運搬具(純額)	2,401	0
土地	75,445	75,445
有形固定資産合計	117,633	114,413
無形固定資産		
のれん	1,889,479	1,814,491
その他	55,041	39,200
無形固定資産合計	1,944,520	1,853,692
投資その他の資産		
投資有価証券	37,719	37,719
破産更生債権等	1,078,711	1,098,514
長期貸付金	16,408	13,799
長期未収入金	92,043	94,579
繰延税金資産	12,399	14,922
その他	117,091	110,668
貸倒引当金	△1,148,618	△1,093,845

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
投資その他の資産合計	205,755	276,358
固定資産合計	2,267,909	2,244,464
資産合計	5,219,055	5,291,741
負債の部		
流動負債		
買掛金	156,071	129,727
未払金	147,184	※1 81,593
短期借入金	10,254	—
未払法人税等	11,605	29,046
賞与引当金	1,712	3,424
その他	63,744	69,589
流動負債合計	390,573	313,381
固定負債		
退職給付引当金	7,588	7,456
長期借入金	16,160	—
その他	2,660	2,647
固定負債合計	26,408	10,104
負債合計	416,982	323,485
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,461,500	5,461,500
資本剰余金	5,344,221	5,218,220
利益剰余金	△6,000,086	△5,708,882
自己株式	△524	△524
株主資本合計	4,805,110	4,970,313
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,036	△2,057
評価・換算差額等合計	△3,036	△2,057
純資産合計	4,802,073	4,968,256
負債純資産合計	5,219,055	5,291,741

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	949,453	825,832
売上原価	394,303	407,675
売上総利益	555,150	418,157
販売費及び一般管理費	*1 742,488	*1 632,850
営業損失(△)	△187,338	△214,693
営業外収益		
受取利息	1,000	444
受取配当金	377	994
為替差益	15,898	—
有価証券売却益	12	—
貸倒引当金戻入額	1,521	—
債務戻入益	—	3,070
受取家賃	2,132	2,532
雑収入	34	8
営業外収益合計	20,977	7,049
営業外費用		
支払利息	118	82
支払保証料	—	32
為替差損	—	19,913
貸倒引当金繰入額	741	2
貸倒損失	1,531	—
持分法による投資損失	—	1,200
営業外費用合計	2,391	21,230
経常損失(△)	△168,752	△228,873
特別利益		
受取補償金	2,000	—
貸倒引当金戻入額	11,812	10,541
その他	—	952
特別利益合計	13,812	11,493
特別損失		
商品廃棄損	—	30,762
訴訟和解金	—	12,000
株主名簿引継手数料	—	25,948
減損損失	4,204	—
特別損失合計	4,204	68,710
税金等調整前四半期純損失(△)	△159,144	△286,090
法人税、住民税及び事業税	22	5,408
過年度法人税等	—	447
法人税等調整額	△1,916	△742
法人税等合計	△1,894	5,113
四半期純損失(△)	△157,249	△291,204

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△159,144	△286,090
減価償却費	15,450	4,511
減損損失	4,204	—
のれん償却額	45,546	39,959
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12,910	54,678
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,383	△1,712
退職給付引当金の増減額(△は減少)	181	131
その他の特別損益(△は益)	—	△952
受取利息及び受取配当金	△1,377	△1,438
支払利息	118	82
為替差損益(△は益)	△127	△31
持分法による投資損益(△は益)	—	1,200
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	10,553	9,505
営業出資金の増減額(△は増加)	—	△30,000
売上債権の増減額(△は増加)	3,000	△18,622
たな卸資産の増減額(△は増加)	9,850	19,534
仕入債務の増減額(△は減少)	29,710	21,700
未収入金の増減額(△は増加)	△19,682	3,298
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△5,503	19,802
その他の資産の増減額(△は増加)	△12,061	10,074
未払金の増減額(△は減少)	24,844	64,207
その他の負債の増減額(△は減少)	△2,396	△8,534
小計	△81,124	△98,696
利息及び配当金の受取額	413	961
利息の支払額	△118	△82
法人税等の支払額	△7,884	△23,316
営業活動によるキャッシュ・フロー	△88,714	△121,133
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,945	△1,738
投資有価証券の取得による支出	△11,315	—
貸付けによる支出	△30,000	△18,900
貸付金の回収による収入	2,249	13,333
その他の支出	△9,675	△140
定期預金の預入による支出	△7	—
定期預金の払戻による収入	10,078	—
敷金及び保証金の差入による支出	△1,550	—
敷金及び保証金の回収による収入	0	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△3,914
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,164	△11,359

(単位:千円)

	前第1 四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	当第1 四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	—	2,070
借入金の返済による支出	—	△256
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	1,814
現金及び現金同等物に係る換算差額	127	31
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△130,751	△130,648
現金及び現金同等物の期首残高	517,689	540,378
現金及び現金同等物の四半期末残高	*1 386,937	*1 409,730

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

	宝飾品 事業 (千円)	投資 事業 (千円)	WEB情報 事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	202,425	34,184	712,844	—	949,453	—	949,453
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,928	4,040	14,378	4,530	27,876	△27,876	—
計	207,353	38,224	727,222	4,530	977,330	△27,876	949,453
営業損失	△58,924	△61,678	△11,070	△13,222	△144,895	△42,442	△187,338

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、宝飾品事業、投資事業、WEB情報事業、その他事業にて区分しております。

2. 各区分に属する主要な商品

事業区分	主要商品
宝飾品事業	宝飾品(高級輸入時計、宝石類)等
投資事業	営業投資有価証券、匿名組合投資等
WEB情報事業	WEB情報サイト運営、広告等
その他事業	マネージメント料等

3. 会計処理の方法の変更

前第1四半期連結累計期間

該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループは、複数の事業を行っており、当該事業により包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社及び当社グループは、事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「宝飾品事業」、「投資事業」、「WEB情報事業」及び「サービス関連事業」並びに「リサイクル事業」の5事業を報告セグメントとしております。

「宝飾品事業」は、主に、正規高級輸入時計の販売（卸売及び小売）及びリセール商品取扱等でありま
す。

（正規品）

当社子会社である㈱ドゥーズが正規取扱店となっている海外高級腕時計を国内において小売及び卸売販売をしております。

（リセール）

当社子会社である㈱アメイジングバリューが国内外市場に対して宝飾品、特に高級腕時計を中心
に販売を行っております。国内外・リセール・オークションをキーワードに販売しております。

「投資事業」は、法人向内容にて安全かつ確実なる投資案件に対し、出資を行っております。

「WEB情報事業」は、結婚情報サイト、競馬情報サイト、WEB広告、WEB通販等を中心に営業活動を行って
おります。

「流通サービス関連事業」は、軽飲食サービスへのコンサルティング業務、業務受託形態の事業展開を行
っております。

「リサイクル事業」は、金、プラチナを中心としたリサイクルブランド「黄金市場」の運営、フランチャ
イズ展開を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント					合計
	宝飾品事業	投資事業	WEB情報事業	流通サービス 関連事業	リサイクル 事業	
売上高						
外部顧客への 売上高	164,932	6,675	520,043	100,121	34,059	825,832
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,480	9,020	716	—	—	11,216
計	166,412	15,695	520,759	100,121	34,059	837,049
セグメント利益 又は損失(△)	△34,022	△104,387	36,403	△7,819	577	△109,248

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な
内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	△109,248
セグメント間取引消去	△577
のれん償却額	△39,008
棚卸資産の調整額	△6
貸倒引当金の調整額	△65,217
減価償却費の調整額	△632
四半期連結損益計算書の営業損失	△214,693

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年12月3日を効力発生日とする㈱エフ・データクリエイション及び㈱クリエイト21との株式交換に基づき、㈱エフ・データクリエイションの株主に対し当社株式22,000,000株及び㈱クリエイト21の株主に対し当社株式20,000,240株の合計42,000,240株の新株を発行しております。この結果、当第1四半期連結会計期間において資本剰余金が126,000千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が5,344,221千円となっております。